

# 五戸町…バヨンボン町（フィリピン共和国、ヌエバ・ビスカヤ州） Bayombong, Nueva Vizcaya, Republic of the Philippines

1 提携年月日 昭和58年12月22日（姉妹都市提携を締結した日）

## 2 姉妹都市の概況

フィリピン共和国最大の島で、ルソン島の中央部に位置し、ヌエバ・ビスカヤ州の州都で人口約6万人。米と野菜を主とする農業の町でオイスカ研修センターなどがあり、オイスカ活動の拠点となっている町である。

同町には国立農業大学、州立大学など大学が3校、ハイスクールが4校ある。太平洋戦争の激戦地バテレ、サクラサクの両峠が近く、また、山下軍最終地イフガオの山々も近いので、戦跡めぐりや巡拝の基点となる町である。

## 3 姉妹・友好提携までの経緯

バヨンボン町は、第二次世界大戦中、川崎元町長を隊長とする川崎隊（食料補給隊）本部を置いた所である。当時の日本軍と関係の深い原住民も多く、川崎元町長をはじめ既に200名以上の町民が、フィリピン戦没者の慰霊と日本オイスカ（現：公益財団法人オイスカ）派遣の青年指導者激励のため、バヨンボン町を訪れ友好を深めた。この戦没者慰霊がきっかけとなり親善交流が進み、昭和58年12月に姉妹都市締結をしている。

## 4 交流の現状

姉妹都市締結以来、中学生・高校生を中心とした人的交流を始めとして、姉妹都市物産フェアやフィリピン料理の試食会等、文化・産業面での交流を行ってきた。近年は、バヨンボン・五戸姉妹都市協会、五戸町国際交流協会を中心とした親善交流を行っている。

## 5 交流の主な動き

- 昭和55年11月 オイスカ視察旅行で町長外34名がバヨンボン町を訪問
- 57年 2月 町長外30名が訪問し、フィリピンの慰霊祭出席とオイスカ農場視察
- 58年12月 五戸町とバヨンボン町の間で姉妹都市を締結
- 59年11月 町長とデラ・クルス町長により調印
- 61年 1月 助役外23名がバヨンボン町を訪問
- 63年 9月 ヴィセンテ・T・ルミオカ町長外25名(生徒18名、大人7名)が来町
- 平成 元年 8月 ルミオカ元バヨンボン町長夫人外22名が来町
- 平成 2年 4月 町姉妹都市友好協会(関口団長外25名(生徒13名、大人12名))がバヨンボン町を訪問
- 8月 バヨンボン町姉妹都市協会会長外27名(生徒16名、大人11名)が来町
- 4年 1月 町姉妹都市友好協会(三上団長外31名(生徒18名、大人13名))が

- バヨンボン町を訪問
- 5年 1月 町長外7名がバヨンボン町を訪問
  - 8月 オウロア・サキン夫人外6名の御夫人が来町
  - 6年 1月 町長外12名がバヨンボン町を訪問
  - 9月 バカサオ町長外7名を招待し、姉妹都市10周年記念式典を開催
  - 7年 6月 セントメリー大学へ留学生2名派遣(8年1月まで)
  - 9年 1月 町国際交流協会(川崎団長外16名(生徒11名、大人5名))がバヨンボン町を親善訪問
  - 9年 6月 県立五戸高校へ留学生2名受入(9月まで)
  - 11年 1月 教育長外6名バヨンボン町を訪問
  - 13年10月 バヨンボン町から3名が来町
  - 14年 8月 パンタレオン・L・アントニオ助役外8名が来町
  - 17年 9月 バカサオ町長外2名が来町
  - 21年 1月 町長外5名がバヨンボン町を訪問
  - 21年 9月 バガサオ町長外9名が来町
  - 23年 2月 町国際交流協会(金澤団長外4名)がバヨンボン町を訪問
  - 24年 5月 バガサオ町長外18名が来町
  - 26年 1月 町国際交流協会(米沼団長外3名)がバヨンボン町を訪問
  - 26年 4月 バヨンボン・五戸姉妹都市協会マルコス協会長外20名が来町
  - 29年 4月 ランティオン町長、バヨンボン・五戸姉妹都市協会マルコス協会長外14名が来町
  - 30年 2月 町長外1名、副議長、町国際交流協会(金澤協会長外8名)がバヨンボン町を訪問
- 姉妹都市締結35周年を機に、友好関係と提携の継続に関する宣誓書を交わす